

「新常用漢字表（仮称）」の名称について

<委員から寄せられた御意見（提出順）>

- A： 漢字表の名称については「常用漢字表」でお願いいたします。
- B： 周知されている「常用漢字表」を受け継ぎ、「改定常用漢字表」とするのが一案ですが、内容が「常用」漢字ばかりでないという意見があるので、一般の日本語の文書を読むためにこれだけは覚えておきたい漢字表という意味で「基本漢字表」でもよいと思います。しかし、名称についてはこの二案にこだわるつもりはなく、大勢に従います。
- C： 「基本漢字表」、もしくは「基礎漢字表」がよろしいのではないかと考えます。「常用」は、誰もがこれらを身につけねばならぬという無言の圧迫を感じる言い方です。

<以下は、第35回漢字小委員会配布資料>

「新常用漢字表（仮称）」の名称について

1 「国語分科会漢字小委員会における審議について」(H19.02.01) から抜粋

----- (4) 「常用漢字の定義」及び「新漢字表の名称」の問題 -----

常用漢字をどのように定義するか。出現頻度を重視するが、出現頻度が低くても、文化の継承や分かりやすい表記に必要な漢字の扱いなど、それ以外の要素をどのように位置付けていくのか。また、常用漢字という名称でありながら、「常用性（≡出現頻度）」以外の要素で選定された漢字が入っている一方、「常用性」が認められながらも選定されていない漢字がある。この点は、現行の「常用漢字」の性格をあいまいにしているところであるが、最終的に「準常用漢字」を設定した場合、その性格付けの困難さにもつながっていく問題である。この点を十分に踏まえて、新漢字表の名称を今後検討していく必要がある。

2 「漢字表の名称案」(S53.12.15)

(1) 試案に対する意見の中にあるもの

- 表の名称……今回の表の趣旨から言って、「常用」「基本」「標準」のいずれかを冠すべきではないだろうか。あるいは、将来の改変を予想して「昭和55年漢字表」とするか。(日本速記協会)
- 名称……「常用漢字表」。将来の改訂を考慮して「〇〇年制定常用漢字表」。(日本タイポグラフィ協会)
- 名称は「漢字当用新表」としたい。「当用漢字」ということばが定着してきているので。(全日本中学校国語教育研究協議会)
- 試案を「国民漢字表」とし、別に「教育漢字表」、それぞれの専門分野におけるものを「専門漢字表」とするという3本建てを望む意見もある。(全国小学校国語教育研究会)

(2) 従来審議会で話題になったものなど(順不同)

- 当用漢字新表 ○常用漢字表 ○総合漢字表 ○基準漢字表
- 昭和()年常用漢字表 ○標準漢字表 ○基本漢字表 ○通用漢字表

3 「漢字表の名称についてのアンケートの結果」(S54.01.19)

回答者 46名

常用漢字表	18	(1)	←括弧内は第2候補として
基本漢字表	9	(1)	書き添えてあったもの
一般漢字表	6		
実用漢字表	3	(1)	
通用漢字表	3		
総合漢字表	2		
公共漢字表	2		
日用漢字表	1		
標準漢字表	1		
当用漢字新表	1		
日常漢字表		(1)	
現代漢字表		(1)	

計46